



まちがど トピックス



■^{ひな}お雛さまにぎやか、春の寺内町

3月9日～10日、富田林寺内町およびその周辺で、じないまち四季物語2019「春」じないまち雛めぐりが開催されました。寺内町の沿道や古民家の玄関、商店の軒先に、代々引き継がれてきた雛人形や手作りのものなどさまざまなお雛さまが飾られました。期間中は、着物姿の人や家族連れなど多くの人々が訪れ、お雛さまを探して寺内町を散策していました。なお、じないまち四季物語は、3月1日に第23回ふるさとイベント大賞「選考委員特別賞」を受賞しました。



■ひろげよう！市民活動の輪

2月17日、エコール・ロゼで、「第14回市民活動わくわく広場 in とんだばやし（ひろとん）」が開催されました。

当日は、市内で活動するNPOや地域の団体など約60団体がブースを設置しました。各団体は、ブースやステージで日頃の活動の様子を紹介し、ショッピングに来られた多くの人々が立ち寄っては、活動の様子を見たり聞いたりしていました。

■プロの知恵と技を学ぶ

2月1日～28日、富田林寺内町にある商店の店主などが講師となり、プロならではの知恵や技を参加者に伝授する「第1回まちゼミ in 富田林じないまち」が開催されました。21日には、きらめきファクトリーで、「マイ観光パンフレットをつくろう」が開催され、参加者は富田林寺内町の歴史や建物の見どころなどを学んだ後、講師からのアドバイスを受けながら世界にただ一つの観光パンフレットを作っていました。



写真とともに見る2月～3月のできごと



■きれいに光る姿を見せてね

2月24日、農業公園サバーファーム内のホタル池に、ホタルの幼虫が放流されました。これは東條ホタルを守る会が「昔、町のあちこちで飛んでいたホタルを子どもたちに見せてあげたい」という思いから取り組んでいるホタル保全活動の一つ。参加した子どもたちは、「げじげじした姿の幼虫がホタルになるのが楽しみ」「ホタルを見たことがないので、ぴかぴか光って飛ぶ姿をまた見に来たい」と胸を躍らせていました。

■今年もきれいになりました

3月3日、第36回石川大清掃が実施されました。当日は、約7000人の市民の皆さんの参加で、石川とその支流を一斉に清掃し、約129トンのごみが集められました。

今年、初めて大清掃に参加したという高校生は、「少しはきれいになったと思う。来年も参加したい」と元気に話してくれました。

参加していただいた皆さん、ありがとうございました。



■この富田林^{まち}の魅力を伝えたい

3月8日、藤陽中学校で、同中学1年生による、学年発表会「富田林観光誘致きらめき大作戦」が開催されました。生徒らは、意識調査班や商工観光課班などに分かれて、街頭調査やフィールドワークなどを実施し、それらを通じて気付いた富田林の魅力や観光誘致のアイデアを発表しました。当日は、保護者や地域に住む人も見学に訪れ、生徒らが調べてきた情報や中学生ならではのアイデアに感心した様子でした。

■強い絆^{きずな}を胸に大きく羽ばたけ

3月13日、市立中学校で、卒業式が挙行されました。

第三中学校では、多数の保護者らが見守る中131人の卒業生に卒業証書が授与されました。

卒業生の答辞では、クラブ活動や勉強などに仲間たちとともに励まし合った日々の思い出や、保護者・地域の皆さんへの感謝の言葉が語られ、式は感動の内に閉式しました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

